



さんぽ保健師コラム

(2019 年夏至号)

はいたい！産業保健専門職（保健師）の千葉です。

皆さん「治療と仕事の両立支援」をご存じですか？

病気の治療をしながらも、働く意欲・能力のある労働者が職を失うことなく、治療と仕事を両立させながら生き生きと働ける社会を目指す取り組みを言います。

沖縄産業保健総合支援センターは「治療と仕事の両立支援」に取り組む企業や労働者の様々なサポートをしていますよ。

仕事と言えば、沖縄民謡「汗水節（あしみじぶし）」には働くことの大切さが詠われています。

1 番の歌詞は、

「汗水ゆながち 働ちゆる人うぬ
心嬉しさや ゆすぬしゆみ
ユイヤサーサー ゆすぬしゆみ
しゅらーよー しゅらーよー 働かな」（作詞 仲本稔）

歌詞の意味は、

「汗水流し働くことの心嬉しいことよ
その喜びは働いた人にしか分からないだろう」

この歌詞のように「働く」ことは、単に経済的な収入を得ることだけではなく、働く人の「生きがい」や「能力を発揮する場」そして社会参加への貢献にも繋がっていますね。

さて、沖縄県「つむかぎ一企業の取り組み事例」をご紹介します。

沖縄県で「治療と仕事の両立支援」に取り組む企業の事例を沖縄産保センターのホームページに掲載しています。「つむかぎ一」とは沖縄の離島・宮古島の方言で「優しい」という意味なんです。

記念すべき第1回は、「人・モノ・地球を大切に～ゆいまーるを大切にした両立支援～」(株) ライフタイム生活館の代表取締役佐和田さんのインタビューを掲載しています。

<https://www.okinawas.johas.go.jp/ryoritsu/file/HP%E7%94%A8%E5%8F%96%E3%82%8A%E7%B5%84%E3%81%BF%E4%BA%8B%E4%BE%8BPDF.pdf>

沖縄県のつむかぎ一企業の取り組み事例、ぜひご一読ください。

(沖縄産業保健総合支援センター 産業保健専門職 千葉 千尋)